【川西まちなかテラスを核とした、あつまる・かかわる・つながる“にぎわいづくり”プロジェクト】令和７年度事業計画概要

担当課	政策推進課						初回採択回	令和７年度第１回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 （カッコ内はR7年度事業費）	88,734千円 （42,181千円）
経費の類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		事業分野	観光分野
目的・効果	• 官民連携によるプラットホームを構築し、地域資源とデジタル技術を最大限に活用しながら観光客や関係人口を拡大することにより、観光消費額の増加による地域経済の好循環が生まれ、川西まちなかテラスを核として「にぎわい」が生まれ続けるまちを目指す。							
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○推進基盤の構築（ソフト・ハード） ・にぎわいづくり協議会　運営費（需用費）　167千円 ・川西まちなかテラスにおける観光ワンストップ窓口と交流空間の整備（委託料、工事請負費、備品購入費）　18,682千円 ○高付加価値型観光事業の展開 ・高付加価値型観光コンテンツの実証経費（使用料、報償費、需用費、委託料、負担金）　1,209千円 ・ＩＣＴ等を活用した情報発信（役務費、委託料）　3,814千円 ・高付加価値型観光事業推進補助金（補助金）　10,384千円 ○かわにしファンの拡大 ・かわにしファン拡大事業補助金（補助金）　1,600千円 ・プレイベント開催経費（報償費、需用費、役務費、使用料）　500千円 ・観光振興・交流推進事業補助金（仮称）（補助金）　600千円 ○デジタル化の推進 ・デジタル化推進プログラム実証経費（委託料）　5,225千円						 集い、交流、にぎわいの場の創出に向けて整備を進めている川西まちなかテラス	
地域の多様な主体の参画	官民連携によるプラットホームとして、「にぎわいづくり協議会」を創設し、各主体がそれぞれの役割を果たしながら、持続可能な「にぎわいづくり」を推進していく。 また、各主体間での情報共有を積極的に行い、事業の効果検証、事業改善を図る。						KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額　（＋642百万円） ②観光客数（＋71,292人） ③川西まちなかテラス利用者数（＋18,480人） ④デジタル化推進プログラム参加者数 （＋150人）

【川西まちなかテラスを核とした、あつまる・かかわる・つながる“にぎわいづくり”プロジェクト】令和７年度事業評価

	合計		令和７年度（実績値）		令和８年度（計画値）		令和９年度（計画値）	
事業費	７７，９３１千円		３５，２２９千円		２４，１８１千円		１８，５２１千円	
交付金	３８，９６５千円		１７，６１５千円		１２，０９０千円		９，２６０千円	
重要業績評価指標（KPI）	指標名	事業開始時点	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
	観光消費額（百万円）	2,144	2,358	1,704	2572	－	2,786	－
	観光客数（人）	475,283	499,047	490,093	522,811	－	546,575	－
	川西まちなかテラス利用者数（人）	0	0	0	16,800	－	18,480	－
	デジタル化推進プログラム参加者数（人）	0	50	94	100	－	150	－
結果及び評価	実施結果	令和7年度は、事業推進の核となる「にぎわいづくり協議会」と関連団体が連携し、推進基盤の整備に注力した。高付加価値型観光コンテンツの開発・実証により地域資源の魅力を高め、ICT技術を活用した情報発信強化で観光客誘致を促進。また、観光交流協会の運営費補助を通じて観光振興体制を支えた。さらに、「かわにしファン」拡大支援では、町内団体との交流協定締結や、イベント開催支援により地域住民と来訪者の交流を深め、地域のにぎわい創出と持続可能な観光振興に寄与した。これらの取り組みを通じ、川西町の魅力発信と地域活性化を図った。							
	KPI達成状況	2	← 1 目標達成 2 おおむね達成できた 3 達成できなかった					
	達成状況の要因	関係機関や地域団体との連携強化により、計画的かつ効果的な事業推進が可能となり、KPIをおおむね達成できた。高付加価値観光コンテンツの開発やICTを活用した情報発信により、地域の魅力を多角的に発信できたことが来訪者増加に繋がった。また、観光交流協会への運営支援や「かわにしファン」拡大事業を通じて、地域住民の参画と協力を得られたことが持続可能なにぎわい創出の基盤となった。さらに、事業内容の明確化と進捗管理を徹底し、課題への迅速な対応を図ったことで、全体としての効果を最大限に引き出せたことも大きな要因である。						
	多様な主体からの意見等	地域の実情に即した多面的な取り組みが評価される。観光資源の活用やICT導入による情報発信強化、地域住民との連携促進など、持続可能な地域活性化に不可欠な要素をバランスよく実施している点は優れている。一方で、目標達成に伴う成果の定量的評価や、今後の課題に対する具体的な対応策の提示がさらに充実すれば、事業の効果がより明確となり理解も深まる。また、若年層や新規事業者のさらなる巻き込みも期待される。							
	今後の展開	令和7年度の成果を踏まえ、事業実施に向けた基盤強化と深化を図る。高付加価値観光コンテンツのさらなる充実やICT活用による情報発信の高度化を進めるとともに、「かわにしファン拡大」支援を拡充し、地域内外の交流促進に注力する。地域住民や事業者との連携を一層強化し、持続可能なまちづくりの推進と地域経済活性化を実現する展望である。						